

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 文化施設感染防止対策費（コロナ関連）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

環境生活部県民文化局 文化伝承課管理調整係 電話番号：058-272-1111（内 2452）

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,028 千円（前年度予算額：0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県債	一般 財源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	4,028	936	0	0	0	0	0	0	3,092
決定額	4,028	1,873	0	0	0	0	0	0	2,155

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

新型コロナウイルス等の感染症対策として、県有文化施設の感染防止対策強化を図り、利用者の安全安心を確保する。

（2）事業内容

県有文化施設（県美術館（岐阜市）、県図書館（岐阜市）、県博物館（関市）、県現代陶芸美術館（多治見市）、高山陣屋（高山市）、県先端科学技術体験センター（瑞浪市））において、感染のおそれのある発熱者の確認のための赤外線カメラ装置、手指消毒により衛生面の予防対策を強化するための消毒液を設置する。

（3）県負担・補助率の考え方

県有文化施設の感染症防止対策であり、県の負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	1,858	消毒液
備品購入費	2,170	サーモカメラ
合計	4,028	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

長期構想 第5章 5ふるさとの誇りと愛情を育てる

(2) 事業主体及びその妥当性

県有文化施設は、文化芸術行事を実施するため、多数の来館者が想定される。来館者の安心・安全のためにも県が感染症対策措置を実施することは妥当である

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
適切な感染症防止対策を実施し、施設利用者に安全安心に活用いただける施設環境づくりを目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

感染症防止対策措置であり、指標を設定することはできない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	感染症防止対策は、県民の安心・安全な施設利用に必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 感染症の動向を注視し、県民に安全・安心な施設利用を行う。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 適切な感染症防止対策を実施し、施設利用者に安全安心に活用いただける施設環境づくりを目指す。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	
--	--